

# あらためまして、ようこそかごしま市へ。



新年度が始まり、新しい生活が始まった人も多いこの季節。ずっと鹿児島市に住んでいる人も、最近引っ越してきた人も、本市ならではのいろいろな魅力を感じてみませんか。



▲写真右から  
①「桜島」溶岩なぎさ公園足湯  
②桜島フェリーと桜島 ③湯之平展望所  
④上空からの桜島 ⑤黒神埋没鳥居



すぐ近くに大自然がある暮らしって、実はすごくうれしい。

**鹿児島**のシンボルといえば、桜島。本市は、人口約60万人を有しながら、活発な活火山と共生している世界的にも珍しい都市です。24時間運航の桜島フェリーに乗れば、市街地からわずか15分。その桜島が浮かぶ波静かな錦江湾は、たくさんの生き物の宝庫でもあります。

この恵み豊かな桜島・錦江湾エリアは、日本ジオパークに認定されています。ジオパークとは、「大地の公園」という意味。大自然の魅力を体感できるさまざまな体験プログラムやツアーも用意されています。しばしば噴煙の上がる活火山の近くで、その恵みを受けながら生活する私たちにとって、その存在はいつしか当たり前のことのように思えてきます。ときには、桜島や錦江湾の魅力を全身で感じてみませんか。

ジオパーク推進室 ☎216・1313

火山の恵み

**温泉天国かごしま**  
県庁所在地で源泉数日本一  
市内のほとんどの銭湯が天然温泉で入浴料もリーズナブル。

西郷どんだけじゃない。世界遺産や史跡など、見どころいっぱい。



▲写真右から  
①旧集成館機械工場(現・尚古集成館)  
②反射炉跡 ③旧鹿児島紡績所技師館(異人館)  
④寺山炭窯跡 ⑤関吉の疎水溝

**西郷** 郷隆盛を見出したことでも知られる薩摩藩11代藩主・島津斉彬は、欧米列強のアジア進出に危機感を抱き、産業や軍備の近代化を図るため、磯地区に近代工場群「集成館」を整備しました。西洋の技術と薩摩藩が持っていた技術を融合させ、さまざまな分野の技術開発や研究が行われ、軍艦や大砲、ガラス、織物などを製造。それが、薩摩藩が明治維新に大きな役割を果たすきっかけとなったのです。

磯地区のほかにも、集成館で燃料として使う白炭(火力の強い木炭を製造した寺山の炭窯や、集成館の水車動力として水を引くための関吉の疎水溝があり、現在もその遺構を見ることが出来ます。

集成館事業は、日本の産業革命の先駆けであり、関連する遺産群は、九州・山口を中心に8県11市の23資産で構成される「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として世界文化遺産に登録されています。

世界遺産推進室 ☎216・1504

平成30年は、明治維新から150周年



島津斉彬